

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成23年11月22日(火) 4校時

児 童 2年1組 男15名 女11名 計26名

指導者 岩持 亜由美

研究課題

個の読みを深める学び合いの在り方

研究課題について(設定理由)

書かれている事柄を正しく、より詳しくイメージしながら読むことは、国語科における全ての学習の基本である。しかし、学級の実態として、順序に沿って文章を読むことが苦手な子どもが多く見られる。また、豊かにイメージを膨らませながら文章を読み、学び合いに積極的に参加している児童が一部の子どもに固定化されつつある。

そこで、学び合いにおいて友達の様々な考えを聞きながら、読みの世界を広げる経験を積ませることが必要であると考えた。また、自分の考えを友達に伝える活動を通して、更に自分の読みが深まるものと考えた。交流の場を適切に設定し、どの子どもも意欲的に読む活動に取り組むことの積み重ねが個の読みを深めることにつながると考え、本課題を設定した。

1 単元名 読んで、せつめいのしかたを考えよう

教材名 「しかけカードの作り方」(ふるうち ひかる)(光村図書 2年下)

2 単元について

(1) 児童観

これまでに児童は、「読むこと」の学習として、説明的文章「たんぼぼのちえ」や「どうぶつ園のじゅうい」で時間的な順序に着目して想像を広げながら話の大体を読み取る学習を行ってきた。その中で、様々な形態での音読、ペアや班での話し合い活動、大事な言葉や文を選ぶ活動に取り組んできた。個々が読み取った内容を交流し合うことで一人ひとりの読みが深まり、教材文のおもしろさに浸ることができた。

読書については、毎日の読書タイムに集中して取り組むなど、本好きな児童が多く見られる。また、学習した内容と関連した本を進んで図書室で借りてきて数人で読み合うなど、楽しみながら読書の幅を広げている児童も多い。反面、文字を読むことが苦手だったり、集中して読むことができなかつたりする児童も数名いる。

本単元を通して、個の読みを深めるための手立てを組み、一人ひとりがイメージを広げながら読むことができるようにしていきたいと考える。

(2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の内容にあたる「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」である。また、単元の中核となる言語活動として、作り方を「説明した文章を書くこと」を位置付ける。

本教材「しかけカードの作り方」は、作り方の作業手順について解説した手順書であるという点が、今まで学習してきた説明的文章とは趣が少し異なる。内容は大きく「材料と道具」「作り方」「使い方」の3つに分けられており、「作り方」では作業の手順がまとまりごとに順を追って示されている。

写真が多く用いられているのも本教材の特色で、読むことが苦手な児童も意欲的に学習に参加できると思われる。

(3) 指導観

第一次では、本単元のすぐ後の教材「おもちゃの作り方」で、児童一人ひとりが自分のおもちゃの作り方を書く活動を行うことを伝え、学習の進め方などを確認する。

第二次では、教材文「しかけカードの作り方」を読んで、作る順序を確かめる。順序を確かめながら、作る工程を詳しく読んでいく。その後、教材文を読みながら実際にカードを作る。

第三次では、分かりやすい説明のポイントを全体でまとめる。実際に作った活動と言葉や文を結び付けさせながら、大事な表現に着目させたい。また、全文の構成にも目を向けさせ、全体が3つのまとまりに分かれていることも確かめる。次の単元で、おもちゃ作りをテーマに自分で説明文を書くことを意識させながら進めたい。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- 事物の作り方に興味をもち、説明する文章を進んで読もうとする。

(2) 読む能力

- ◎ 「しかけカードの作り方」を読んで、しかけカードを作り、「説明のしかた」について考えることができる。 (読 イ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 言葉には、意味による語句のきまりがあることに気付くことができる。

4 指導計画

(「読むこと」 5時間)

次	時	学習内容
一	1	「しかけカード」がどのようなものなのか確認し、学習計画を立てること。
二	2	教材文を読み、作り方の順序を確かめること。
	3	実際に「しかけカード」を作ること。
三	4 (本時)	作り方の中で、説明の分かりやすかったところを見つけること。
	5	全文を通して、説明の分かりやすかったところを見つけること。

5 本時の指導

(1) 目標

2つの文章を比較して、作り方を分かりやすく伝えるための筆者の説明の工夫を見つけることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
導 入	1 前時までの学習を想起する。	・前時は、教材文を読みながら「しかけカード」を作ったことを想起することにより、本時の学習への意欲を高めるようにする。
	2 本時の学習課題を把握する。 ふるうちの、せつめいのひみつを見つけよう。	・本時では、課題について話し合うことにより、どのような言葉や文が説明を分かりやすくしているか考えていくことを確認する。
5 分	3 解決の見通しをもつ。	・提示した2つの文章に違いがあることを確認する。
展 開	4 学習課題を解決する。 (1) 学習場面を音読する。 ・ペアで丸読みする。	・大切な言葉や文に着目して読むように意識づける。
	(2) 本文から説明の工夫を見つける。 ・サイドラインを引く。	・2つの文章を比較することで、説明を分かりやすくしている言葉や文に気付かせる。
	(3) 見つけた説明の工夫についてペアで話し合う。	・話し方の例を示すことにより、見つけた工夫が説明を分かりやすくしている理由も付け足して話すようにする。
	(4) ペアで話し合ったことを、全体で交流する。	・順序を表す接続語や長さ・場所を表す言葉、注意することが書いていると分かりやすい説明文になることをとらえさせる。
	(5) 見つけた説明の工夫を書きまとめる。	・本時の学習内容を振り返ることで、項目として書きまとめることができるようにする。
35 分		◇ 2つの文章を比較して、筆者の説明の工夫を見つけることができたか。(ノート・発言)
終 末	5 学習のまとめをする。	・本時の関心・意欲・態度や課題について振り返り、満足感や成就感をもつことができるようにする。
	6 次時の学習内容を知る。	・次時では、本文全体の説明の工夫を見つけることを確認し、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。
5 分		